

# 青少年育成県民運動 50周年記念大会

開 催 報 告 書



青少年育成青森県民会議

# はじめに

次代を担う青少年が、豊かな感性と能力を培い、社会の構成員として心身ともに健やかに成長するためには、家庭、学校はもとより、地域を構成する全ての団体や住民一人ひとりが、日頃から子どもたちを温かく見守り、励まし、時には注意するなど、主体的に関わっていくことが必要です。

そのため、青少年育成青森県民会議では、青少年の自ら成長しようとする力を県民総ぐるみで育てていくため「伸びよう 伸ばそう 青少年」をスローガンに、皆様の御支援と御協力をいただきながら青少年育成県民運動を50年間続けてきました。

青少年育成県民運動50周年を契機に、これまでの青少年育成関係者に加え、子どもや若者、子育て世代を取り込んだ形での県民運動の拡充の機会とし、今後の県民運動の大きなステップアップの足掛かりとするため、平成28年12月に青森市において、青少年育成県民運動50周年記念大会を開催いたしました。

この報告書は、記念大会当日に行われた第1部の青少年育成県民運動新キャッチフレーズ最優秀賞授与、記念講演等のほか、第2部の「未来を担う青少年のふるさと青森を想う心を育む舞台劇」の内容などをまとめたものです。

今回の一連の青少年育成県民運動50周年記念大会事業は、我々にとって、今後の運動推進に向け大変実り多いものとなりました。大会の開催に当たり御支援、御協力をいただいた皆様に、心から感謝を申し上げます。

平成29年2月

青少年育成青森県民会議  
会長 前田みき

# 目 次

## 青少年育成県民運動50周年記念大会

と き 平成28年12月11日(日)

ところ リンクモア平安閣市民ホール(青森市民ホール)

### 【第1部】

■ 主催者挨拶 .....	1
青少年育成青森県民会議会長	前 田 み き
■ 来賓祝辞 .....	2
青森県知事	三 村 申 吾
青森県教育委員会教育長	中 村 充
青森県警察本部本部長	大 塚 泰 博
■ 青少年育成県民運動新キャッチフレーズ最優秀賞授与 .....	5
受賞者 青森市立浦町中学校 2年 福富 葉月	
■ 青少年育成県民運動「51年目へ向けて」 .....	6
青森市PTA連合会副会長	福士 めぐみ
■ 記念講演(要旨) .....	7
「人生の教科書」	
講師 柔道家 古賀 稔彦	
【第2部】(概要)	
■ 未来を担う青少年のふるさと青森を想う心を育む舞台劇 .....	9
「君の声 ーあの夏、青森でー」	
■ 参考資料 .....	11

青少年育成県民運動50周年記念大会開催要綱  
参加者アンケート集計結果

## 第1部

---

## 挨拶／祝辞

---

# 主催者挨拶



## 青少年育成青森県民会議

会長 前田 み き

本日は、お忙しい中を県内各地から御参会いただき、誠にありがとうございます。

また、御来賓の皆様におかれましては、御多用のところを御出席いただき、心からの感謝を申し上げます。

青森県の将来を担う青少年の非行防止と健全育成を目的に、昭和41年11月28日に発足いたしました青少年育成青森県民会議も、関係機関や関係団体、そして会員の皆様の御協力と御支援のおかげをもちまして、今年で50周年を迎えました。

これまで、青少年育成活動を継承・発展させてこられた先輩諸氏の熱意と御努力に対し、改めて感謝の意を表したいと思います。

当会議が設立した年に生まれた赤ちゃんが、50歳を迎えるということですから、月日の流れを感じずにはいられません。この間、社会環境も生活形態も、地域社会のあり様もずいぶんと変わりました。

少子化、核家族化が進み、他者との関わりが稀薄になっていると言われて久しい感がありますが、どの時代においても「子どもたち、そして明るい未来のために」という思いは、揺るぎないものであったはずですし、どの地域においても「地域を担う子どもたちの育成」に心を砕いてこられたと思うのです。

ここで皆様に、50年前の結成大会における大会宣言の一部を、御紹介したいと思います。

『青少年が常に健康で明るく、たくましく、有為の人として成長することは、青少年自身の課題であるばかりでなく、県民すべての責任である。』そして『社会一般が青少年に限りない愛情と信頼を寄せて、積極的に青少年の育成につとめるよう、県民総ぐるみの運動を展開するものである』とあります。

その当時の諸先輩方の青少年問題に対する熱い思いと決意が込められた宣言だと、本当に胸が熱くなります。これを読んだ時、私も自分自身を振り返り、限りない愛情と信頼を寄せて来られたらどうか・と、これまでを思わずにはいられませんでした。

私は、弘前市の「地域子ども会」での活動を通し、地域の大人と協力しながら子どもを育てる魅力にとりつかれ、中学校教員の道を選び、社会教育にも携わってきました。そんな若い時代の経験から、子どもたち一人ひとりが「ここで生まれ、ここで育ってよかった。」と思ってもらえる地域づくりができればどんなに素晴らしいだろうと、いつも思っています。

もし、県民一人ひとりが自分の両親や子ども、身内への思いと同じように、地域の子どものために愛情と信頼を寄せ、支えていただけたなら、子どもたちは、未来への道を自分自身で拓いていく力がつくのではないかと思います。私たち大人は、どんな時にも、子どもたちの応援団でありたいものだと思うのです。

青少年育成県民運動は、地道な活動であり、小さいことの積み重ねの活動です。

50周年を迎えた今日、県民運動がスタートした時の思いに今一度立ち返り、『子どもたちが未来を自ら切り拓き、希望に満ちた人間として成長することができるよう』に、御参会の皆様をはじめ県民総ぐるみでこの「青少年育成県民運動」を一緒に推進していただくことを強く願っています。

最後になりましたが、この大会の開催に当たり、本当に、沢山の御支援・御協力、そして、御厚情を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

今日のこの大会が、御来場の皆様方にとっても実り多いものとなりますことを願って、開会のあいさつとさせていただきます。

# 来賓祝辞

青森県知事

三村 申吾



次代を担う青少年の健全育成を進める青少年育成県民運動が、大きな節目となる50周年を迎え、その記念大会が、多くの皆様の御参加のもと、このように盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

この県民運動の推進母体である青少年育成青森県民会議は、昭和41年の結成以来、半世紀にわたって、市町村民会議や関係団体等との連携のもと、青少年の健全育成のための様々な活動に積極的に取り組まれ、大きな成果をあげてこられました。これもひとえに、前田会長をはじめ、歴代の関係者の皆様の永年にわたる御尽力の賜物であり、心から感謝申し上げますとともに、深く敬意を表します。

さて、昨今の青少年を取り巻く社会環境は、少子化、スマートフォンやSNSの普及など急速に変化しており、引きこもりや不登校、いじめといった様々な問題が顕在化しています。

このような状況の中、県では、子どもたちが命を大切にし、他人への思いやりをもち、豊かな心を育てていくために、「ひとつのいのち。みんなのだいじないのち。」をキャッチフレーズとして、「命を大切にする心を育む県民運動」に県民総ぐるみで取り組んできたところです。

青森県の未来を担う青少年の可能性を大きく伸ばし、地域を担う「人財」として成長できるよう、環境を整えていくことは、私たち大人の責務であり、10年後、20年後を見据え、地道に、粘り強く取組を続けていくことが重要であると考えています。

各地域のリーダーである皆様には、先頭に立って、更なる育成活動の普及のために御尽力いただき、本県青少年の健全な育成にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日の記念大会の御成功と、50周年を契機とした県民会議のますますの御発展、そして御参会の皆様の御健勝と一層の御活躍をお祈りして、お祝いの言葉といたします。

# 来賓祝辞

青森県教育委員会  
教育長 中村 充



青少年育成県民運動50周年記念大会の開会に当たり、一言お祝いを申し上げます。

次代を担う青少年が、豊かな感性と能力を培い、心身ともに健やかに成長することは、県民全ての願いであります。その実現を目指して推進されてきた青少年育成県民運動が50周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

また、青少年育成青森県民会議が、長年にわたって子どもたちの健やかな成長を支援する青少年健全育成県民運動を推進されておられますことに、深い感謝を申し上げます。

さて、県教育委員会では、「青森県教育施策の方針」に基づき、「郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人づくり」を目指し、様々な施策を展開しております。

青森県の未来を担う子どもたちが、社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を培い、地域や社会の一員として主体的に未来を切り拓いていく資質を身に付けるためには、学校、家庭、地域が連携・協力して社会全体で取り組むことが大切だと考えております。

青少年育成青森県民会議の活動は、まさに地域の立場から全ての子どもたちの健やかな成長を目指す取組であり、皆様と連携しながら県教育委員会の施策を進めることが、ますます重要になっていくと考えております。

どうか皆様におかれましては、これまで同様、子どもたちが健全に過ごすことができる環境づくりを推進していただくとともに、子どもたちの心身ともに健やかな育成にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、青少年育成青森県民会議のますますの御発展と御参会の皆様方の御活躍をお祈り申し上げ、祝辞といたします。

## 来賓祝辞



青森県警察本部  
本部長 大塚 泰博

青少年育成県民運動50周年記念大会が、多くの関係者のご出席のもと、盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

青少年育成青森県民会議におかれましては、昭和41年の結成以来、次代を担う青少年の健全育成を図るため、関係機関・団体との連携を強化しながら、青少年の非行防止活動や健全育成に関する広報啓発活動など、県内各地で創意工夫をこらした多様な活動を行われてきたところであり、これまでの皆様方のご尽力に対して、深く敬意と謝意を表したいと思います。

それでは、せっかくの機会でありますので、県内の少年非行情勢を簡単に説明させていただきます。

昨年、平成27年中に、窃盗などの犯罪で検挙・補導された少年は346人で、統計が残っている昭和23年以降、最少を記録しました。

また、今年につきましても、皆様方のご協力により、昨年をさらに下回る状況で推移しているところでもあります。

しかしながら、その内容を見ると、万引きで検挙・補導される少年が、小・中・高校生ともに、依然として多く、しかも、それらの少年のうち、約3割が再び非行を犯しているなど、決して楽観視できない情勢にあります。

また、スマートフォンが、中・高校生にも急速に普及したことで、無料通信アプリ等を用いた、いわゆるネットいじめや、わいせつな犯罪被害に遭う少年が増加するなど、少年を取り巻く環境も刻々と変化しています。

県警察といたしましては、これまで以上に皆様方をはじめ、関係機関や団体、ボランティアの方々との緊密な連携を図りながら、地域一体となった少年非行防止活動と少年の保護活動に取り組んで参る所存でありますので、今後とも、さらなるご協力、ご支援をお願い申し上げます。

結びに、この50周年という記念すべき年を更なる飛躍の年とされ、青少年が健やかに成長できる青森県の実現に向けて、青少年育成青森県民会議のますますのご発展、そして、ご参会の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。



## 第1部

---

青少年育成県民運動  
新キャッチフレーズ  
最優秀賞授与

青少年育成県民運動  
「51年目へ向けて」

---

# 青少年育成県民運動新キャッチフレーズ 最優秀賞授与

青少年育成県民運動が50周年を迎えるに当たり、青少年健全育成の気運を更に高めることを目的に県民運動のキャッチフレーズを募集したところ、101点の応募がありました。最優秀賞に選ばれた福富葉月さんに、賞状が授与されました。



## 最優秀賞受賞作品

「育てよう 未来を見つめる かがやく瞳」

受賞者

青森市立浦町中学校

2年 福富 葉月



## 青少年育成県民運動「51年目へ向けて」

次代を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を培い、心身ともに健やかにたくましく成長することを願って、昭和41年から進められてきた青少年育成県民運動は、この度50周年の節目の年を迎えました。

この間、青少年の健全育成や非行防止など、県内各地で多様な取組が展開され、多くの青少年は自らの夢や希望の実現に向け努力し、明るく健やかに成長しており、スポーツ・ボランティア活動など、社会の様々な場面で活躍しています。

その一方で、少子化や核家族化の進行、地域力の低下、情報化社会の進展など、社会環境の急速な変化が青少年の意識や行動に大きな影響を及ぼし、青少年の非行、いじめや不登校、ニート、ひきこもり、インターネットやスマートフォンが介在する問題行動など青少年を巡る問題は、ますます複雑・多様化しており、児童虐待、子どもの貧困問題も深刻です。

そうした今、未来の郷土を担う青少年の育成は最も重要な課題であり、私たちの果たすべき役割は一層重要なものになっています。

青少年育成県民運動50周年を契機に、育成活動が、全ての人にとって住みよい社会や幸せな暮らしを創り出していくことにあるという原点に立ち返り、家庭や学校、関係機関はもとより、地域を構成する全ての団体や住民一人ひとりが共に手をつなぎ、積極的に運動に取り組んでいくことが必要です。

51年目へ向け、新たなスタートを切るときが来ました。

青少年が未来への夢や希望を持ち、健やかに成長することができる社会づくりを目指して、共に歩んでいきましょう。

【宣言者】

青森市PTA連合会

副会長 福士 めぐみ



第1部

---

記念講演

---

## 「人生の教科書」

講師 柔道家 古賀 稔彦

現役選手時代のエピソードなどを交えながら、これからの人生において何が大切なのかを、会場とのやりとりを交え、楽しく、そして熱く語っていただきました。



自分の夢を実現させるためには、「もっとこうなりたい。」という「欲」を無限大に表に引き出して取り組むことが大切です。誰でも欠点をもっていますから、自分の欠点を素直に認め、それを克服しようと人一倍努力することで欠点を長所にするのができ、夢の実現へ近づいていけるのです。

そして、その夢の実現には、家族や仲間、いろいろな人たちの支えがあるということを忘れてはいけないということを、私はソウルオリンピックでの敗戦から学ぶことができました。

私は、柔道の創始者である嘉納治五郎先生が遺してくれた「精力善用、自他共栄※」この言葉を、私がやっている「古賀塾」の指導者や塾生とともに実践していきたいと思っています。

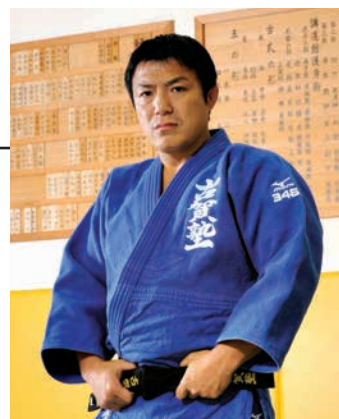
「柔道を通して、自分の心を磨き養うことを伝えるため」教え子たちとともに、一緒に汗を流し夢に向かって一生懸命頑張っています。どうぞ皆さんも、それぞれの夢に向かって一生懸命に頑張ってください。

※自分の持っているエネルギーを日常生活の様々な局面で、常に良い方向に持っていき、周りの人たちも共に手と手を取り合って前向きに進んでいきたいと思います。



### 「古賀塾 塾五訓」

- 一つ、「はい」という素直な心
- 一つ、「ありがとうございます」という感謝の心
- 一つ、「私がします」という奉仕の心
- 一つ、「すみません」という反省の心
- 一つ、「おかげさま」という謙虚な心

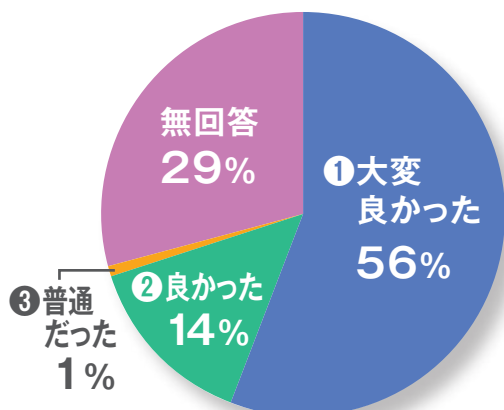


#### 講師プロフィール

柔道家(八段)  
古賀塾塾長  
医学博士  
環太平洋大学教授 柔道部総監督  
1992年バルセロナオリンピック柔道男子71kg級金メダリスト  
佐賀県出身

## ◆ 参加者アンケート

### 記念講演はいかがでしたか？



#### ◆ 参加者の声

- 古賀先生の元気あるお声で背中を押されました。夢にむかい、欠点(短所)を長所にする生活へ。
- 講演のお話がすべてうなずける内容だったので、自分自身、自信をもって生活していける気になりました。
- 普通の事、感謝の気持ち、奉仕の気持ち等を古賀さんのおかげで思い出すことが出来ました。
- ゴミを拾えない人は夢もつかめないという言葉がとても感動しました。
- 出来ることなら、小・中・高校生の皆様にも聞かせたかった。
- 人生の進路を発見させていただきました。
- 「人生の教科書」の演題にふさわしい講演内容だったと思います。
- 普通の事が普通にできる「日本の心」が大切であることが再確認できた。
- 古賀さんの人生、柔道の教え方が見える様で大変教えられました。



## 第2部

---

未来を担う青少年の  
ふるさと青森を想う心を育む舞台劇

「君の声 ―あの夏、青森で―」

---

## 未来を担う青少年のふるさと青森を想う心を育む舞台劇

# 「君の声 -あの夏、青森で-」

作・演出 梶谷 伸夫

青森に縁のある家族の物語を郷土芸能を織り交ぜながら、子どもから大人までが一緒になって舞台劇を創作し、発表しました。

### ◆舞台劇あらすじ



梶山猛は高校3年生。6月末頃から学校に行かなくなり3週間が経過。心配する両親はその理由を聞き出そうとするがうまくいかず、状況を打開するため夏休みを利用して、ふるさと青森への旅行を計画する。

父の実家、八戸で三社大祭を見物する猛。同席した叔父や大学生の従兄に学校に行くよう言われるが納得せず、頭を噛みにやってきた虎舞にいらだつ。

その後、母の実家、今別を訪れた猛たち。荒馬祭を控え、賑わいを増す町。祭りに参加しに県外からやってきた夫婦や地元の高校生に誘われ、荒馬に参加する猛。祖母との農作業や元気に暮らす老人たちとのふれあい、美しい海と空気の中で、明るさを取り戻していく…。

### ◆オーディション、そして稽古開始



舞台劇を通じて、世代や地域を越えて交流し一つの作品を作りあげることは、自己肯定感の向上と郷土愛の育みにつながるものであり、地域社会が一体となって青少年を見守り、育てていこうとする思いを強く抱かせることが期待できるものと考え、参加者の募集を行いました。

7月にオーディションを行い、総勢約30名の役者及びスタッフが集まりました。演劇経験者から初めての方まで一緒になり、本番に向け稽古を始めました。

舞台劇には、郷土芸能として、八戸市の「小中野左比代虎舞」と今別町の「大川平荒馬保存会」も参加しました。大川平荒馬を踊る役者は、初めての荒馬に挑戦し、練習の日々が続きました。





## ◆本番当日

12月11日曜日、記念大会当日。会場は、800人を超える観客でいっぱいとなり、いよいよ本番が始まりました。1回きりの上演。役者、スタッフ、全ての関係者に緊張感が漂う中、これまで積み重ねてきたものを出し切ろうと、必死に取り組んでいました。

不登校気味の主人公猛が両親のふるさと青森の良さに触れ、周りに支えられながら少しずつ元気を取り戻していく…。笑い、躍動、ふれ合い。様々な場面が、観る者を引きつけていきました。

そして、「君の声」の合唱が流れる中、エンディング。1時間30分があっという間に過ぎ、観ている観客の目には涙がにじんでいました。



## ◆参加して下さった皆様（※敬称省略）

### 【キャスト】

木村浩平 秋田美紀 エイチロウ 齋藤千恵子 北魚昭次郎 中島美華 福田真紀  
佐々木瞳 小林美貴 長谷川等 のふじゆみ 齊藤知代子 高谷憲 小山内杏  
木村知 八木舞 高木隼人 嶋中美佐希

八戸市小中野左比代虎舞 今別町大川平荒馬保存会  
青森市立三内中学校演劇部 青森市立南中学校合唱部

### 【スタッフ】

榎谷伸夫 高木えいじ 杉浦ひさし 創芸企画 木村勝一 原シュー 小野寿文  
小山内紀子 八木舞 須藤哲也 小山内萌 多加子 一戸崇 森田誠

### 【協力】

劇団支木 (一社)青森県ろうあ協会 青森県難聴者・中途失聴者協会  
青森県立青森聾学校 (有)カメラの和弘



この舞台劇は、(公財)むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受けて実施しました。

## 參考資料

---

# 青少年育成県民運動50周年記念大会 開催要綱

## 1 趣 旨

青少年育成県民運動50周年を契機に青少年育成県民運動についての周知を図り、これまでの青少年育成関係者に加え、子どもや若者、子育て世代を取り込んだ形での県民運動の拡充の機会とし、今後の県民運動の大きなステップアップの足掛かりとするものである。

## 2 日時及び場所

平成28年12月11日(日) 10:30~15:00

リンクモア平安閣市民ホール

(住所:青森市柳川1-2-14 電話:017-722-3770)

## 3 主 催

青少年育成青森県民会議

## 4 後 援

青森県／青森県教育委員会／青森県警察本部／青森市／青森市教育委員会／青森市青少年育成市民会議／青森県市長会／青森県町村会／青森県地域婦人団体連合会／青森県交通安全母の会連合会／青森県地域活動連絡協議会／青森県更生保護女性連盟／社会福祉法人青森県社会福祉協議会／公益社団法人青森県防犯協会連合会／青森県市町村教育委員会連絡協議会／青森県小学校長会／青森県中学校長会／青森県高等学校長協会／青森県私立中学高等学校長協会／青森県PTA連合会／青森県高等学校PTA連合会／青森県私立幼稚園連合会／青森県国公立幼稚園・子ども園会／青森県児童館連絡協議会／青森県少年警察ボランティア連絡協議会／青森県人権擁護委員連合会／青森県BBS連盟／青森県保護司会連合会／青森県民生委員児童委員協議会／青森県母子寡婦福祉連合会／社会福祉法人青森県共同募金会／「小さな親切運動」青森県支部／一般社団法人青森県保育連合会／日本赤十字社青森県支部／青森県青少年赤十字指導者協議会／一般社団法人青森県子ども会育成連合会／日本ボーイスカウト青森県連盟／一般社団法人ガールスカウト日本連盟青森県支部／青森放送株式会社／株式会社青森テレビ／青森朝日放送株式会社／東奥日報社／陸奥新報社／デーリー東北新聞社／NHK青森放送局／株式会社エフエム青森

## 5 対 象

青少年育成関係団体・機関等関係者／青森県青少年健全育成推進員／社会福祉関係者／PTA及び青少年教育関係者等／一般県民

## 6 大会日程

《第1部》 ○10:30~12:00 記念式典

- ・開会宣言
- ・主催者挨拶
- ・来賓祝辞
- ・県民運動新キャッチフレーズの最優秀賞授与
- ・記念講演  
講師 古賀 稔彦 氏(柔道家、バルセロナ五輪金メダリスト、古賀塾塾長、医学博士)

《第2部》 ○13:00~15:00

未来を担う青少年のふるさと青森を想う心を育む舞台劇  
「君の声ーあの夏、青森でー」

- ◆青森に縁のある家族の物語を郷土芸能を織り交ぜながら、子どもから大人までが一緒になって舞台劇を創作し、発表

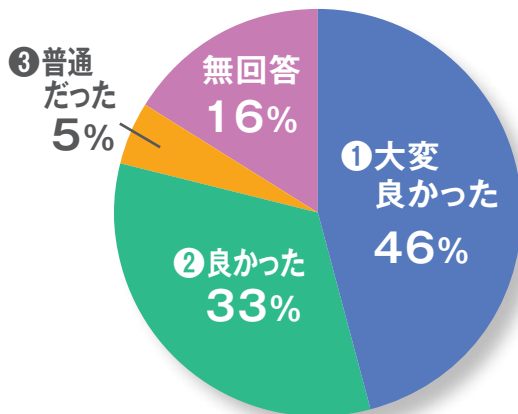
## 7 申し込み・問い合わせ先

青少年育成青森県民会議事務局(青森県環境生活部 青少年・男女共同参画課内)

TEL:017-734-9226(直通) FAX:017-734-8050

## 参加者アンケート集計結果

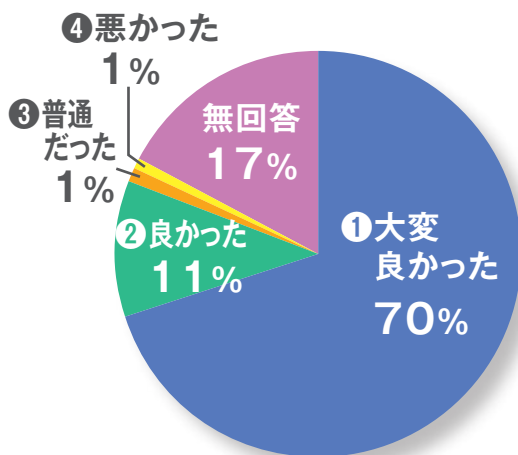
### Q:プログラム構成はいかがでしたか?



#### ◆参加者の声

- 非常に多彩で楽しみつつも、考えさせられることも多かったです。
- 進行状態が大変スムーズでした。
- 手話通訳があり感激しました。
- 講演と劇公演の二部構成が新鮮でした。斬新で素敵な取り組みだと思います。
- 流れとしてあいさつの時間とかも適当で良かったと思います。
- 地域団体の集まりが多い中、知事も出席でお話をして下さり、とても有意義だと思います。
- 私達高齢者に刺激になり、元気をもらった。
- 新しいスローガンの表彰があり、中学生の作品が選ばれたことが良かった。

### Q:舞台劇「君の声」はいかがでしたか?



#### ◆参加者の声

- 郷土芸能満載とっても楽しくそして心に響く劇でした。
- 土地の言葉で、生の地元の芸能や伝統芸能を織り込んだ豊富な内容の中に現代の若者の悩みを表現して、見ごたえがありました。
- 人生挫折も必要、周りの思いやりと協力で立ち直れて良かった。
- 一步間違えば自殺に走る子ども達。前向きな気持ちになれる劇でした。荒馬も虎舞も初めてだったけど、青森にもこんな素晴らしい感動があるのですね。
- 各年代の人々の悩みなど共感できた。
- 今別、八戸、青森の魅力が伝わっていいと思います。
- 演技がすごかった。内容もよく、涙も出たし、笑うことが出来て感動いっぱいもらえました。
- 会議の趣旨に沿う素晴らしい舞台でした。素人を使ってこの仕上がりが。素晴らしい。一回公演ではもったいない。
- 徐々に自然に涙が出ました。
- 大学大学と学歴主義のようで…。子ども達にも多様な進路がある。
- 色々な悩みを抱えて成長していく青少年、周りの人が色々な体験などを経験させ、素晴らしい青少年に育て上げたいと思います。
- 人生のあり方を学べたような気がする。
- 人は一人では生きられない。皆の支えがあれば立ち直ることが出来る。自分も青春時代こんな時があったと思い出しています。悩みは自分のこれからの人生に必ず役立つ、孫にも教えている。





## 会員を募集しています

青少年育成青森県民会議では、地域での青少年活動及び育成活動をより一層活発に進めるため、全ての県民による青少年育成運動の推進を目指しています。

この運動は、地域の全ての大人が明日の地域社会を共に作っていく仲間としての青少年の育成に主体的に関わり、住み良い地域社会をみんなで作っていかうというもので、運動の趣旨に御賛同・御協力いただける会員を広く募集しています。

加入時の申込みは随時受け付けておりますので、下記事務局までお問い合わせください。

### 会費【正会員】

青少年育成活動を協同して推進していただける  
団体・個人

◎年会費／団体会員：6,000円  
個人会員：3,000円

### 【特別会員】

県民会議の趣旨に賛同して支援していただける  
団体・個人など

◎賛助金／団体・個人とも：10,000円

振込口座

青森銀行県庁支店：(普)80533 ゆうちょ銀行：02320-3-10820

みちのく銀行青森支店：(普)2407876

\*口座名義はいずれも「青少年育成青森県民会議 会長 前田 みき」



**青少年育成青森県民会議事務局**

青森県環境生活部 青少年・男女共同参画課内 TEL. 017-734-9226